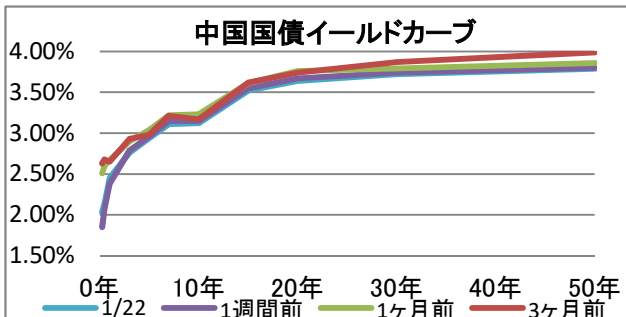
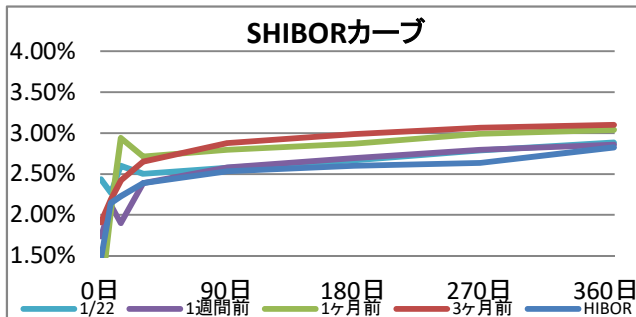


①市場概況

基準レート		2021/1/22	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4617	-0.0006
	JPY/CNY	6.2407	0.0144
SHIBOR	3M	2.5780%	-0.0030%
国債利回り	10年	3.12%	-0.03%
上海総合指数		3,606.75	+40.37



(1) 概況

金融市場では、バイデン氏が第46代米国大統領に就任する週とあって、米国の経済対策や対中国政策について見極め姿勢が強まる中、元FRB議長のイエレン次期財務長官が議会承認公聴会で経済支援策への積極姿勢を表明したことにより株高、ドル安になる場面もあったものの、バイデン新大統領就任後は材料出尽くしにより上値の重い展開となった。中国市場では、納税に伴う資金需給の悪化や春節休暇を控えた金融機関の現金保有増等が懸念されたが、中国人民銀行による大規模資金供給を背景に、株式市場では予想を上回るGDPを好感し、債券市場では新型ウイルス感染拡大や債券需給改善期待から、ともに安定を維持している。

中国人民銀行は、20日にノンバンク決済機関条例により決済業務の独占禁止措置を含む監督強化に対するパブコメ募集を開始し、22日にはノンバンク決済機関顧客準備金保管法による3月からの資金管理強化実施を決めている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ日160億元に対し、新規リバースオペ6,140億元を実施し、8か月ぶりの水準となる差引き5,980億元を供給している。

LPR (1年3.85%、5年以上4.65%) は9か月連続で据え置かれている。

(3) 主な経済指標

- ・GDP(第4四半期)は前年比+6.5% (第3四半期、同+4.9%) と、外需による押し上げ効果もあって全産業がプラス成長となる2年ぶりの高い伸びとなる堅調さで、通年でも同+2.3%と主要国では唯一のプラス成長となった。
- ・鉱工業生産 (12月) は前年比+7.3% (11月、+7.0%) と、インフラ、エネルギー関連が底堅く、電子機器も高い伸びを維持して高い伸びとなり、通年でも同+2.8%とプラス成長となっている。
- ・小売売上 (12月) は前年比+4.6%と、回復が鈍化している。飲食が前年並みとなる一方、食料、飲料や自動車や家電等の耐久消費財が堅調となっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.4360%	2.2000%	2.7600%	
1W	2.2710%	3.3000%	2.8000%	2.0300%
2W	2.6010%	2.6500%	3.9000%	2.3000%
1M	2.5030%	2.6800%	4.0000%	2.4000%
3M	2.5780%	5.4000%	2.7500%	2.5000%
6M	2.6680%	3.6500%		2.5700%
9M	2.7890%			2.6800%
12M	2.8830%	3.9000%		2.9000%

大都市での新型ウイルス感染拡大や企業の納税に加え、春節連休に向けた現金準備の高まりを意識した中国人民銀行の高水準の資金供給が金融機関の安心感を高めており、春節連休を跨ぐ期間の金利上昇も限定的となっている。

NCDは、金利水準に大きな変化はないものの、活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.40%前後、3ヶ月が2.50%前後、6ヶ月が2.70%前後、1年は2.90%前後での取引が中心となっている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.05%
1M	0.15%	0.20%
3M	0.30%	0.36%
6M	0.45%	0.50%
12M	0.65%	0.70%

春節休暇を控えて資金需給がタイトになりつつあるものの、取り急ぎは見られず、ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月が0.35%前後での取引が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.03%	2.06%	2.52%	2.72%	3.38%
6M	2.14%	2.15%	2.66%	2.83%	3.49%
1Y	2.45%	2.46%	2.86%	2.99%	3.67%
3Y	2.76%	2.95%	3.33%	3.51%	4.21%
5Y	2.94%	3.10%	3.55%	3.70%	4.54%
10Y	3.12%	3.50%	3.84%	4.02%	4.94%

債券市場では、週初に発表されたGDPが予想を上回る内容となったことから利回りが上昇していたものの、中国人民銀行による大規模な資金供給による短期金利の安定や新型コロナウイルス感染拡大懸念に加えて地方債等の新規発行が抑制されていることから、中長期の利回りは総じて低下に転じている。

イーロドカーブは資金需給の引き締めから短期金利が上昇みとなったことからフラットニング傾向が続いており、クレジットスプレッドは信用債利回りが下げ渋る中で利率債の中長期の利回りが再度低下に転じたことから小幅ながら拡大に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	33.5 / 36.5
1M	147.0 / 148.9
3M	372.0 / 375.0
6M	703.0 / 707.0
9M	1023.0 / 1035.0
12M	1346.0 / 1355.0

対ドル基準レートは、6.4617と前週末比-6pipsとほぼ変わらず、対円基準レートは6.2407と同+144pipsの円高元安での設定となっている。国内市場では、バイデン新大統領の対中政策を見極めたいとの慎重姿勢が目立ち、6.45から6.50でのレンジ取引が続いている。

先物は、連休を控えて人民元金利が上昇したことから、スワップ幅は週初にやや大きく拡大して1年物が1400を超えていたものの、その後は拡大幅を縮小して前週末の水準に戻している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.41%		1.92%
6M	2.44%	2.75%	1.97%
9M	2.46%	2.84%	2.06%
1Y	2.48%	2.91%	2.10%
3Y	2.68%	3.22%	2.32%
5Y	2.84%	3.42%	
7Y	2.97%	3.58%	
10Y	3.13%	3.76%	

債券利回りが週初に上昇したことからスワップ金利も上昇したものの、その後債券利回りが低下に転じたことからスワップ金利も上昇幅を縮小している。ただし、スワップ金利は前週末比低下までには至っておらず、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは小幅ながら拡大が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。